

美桑が丘

小中一貫 学校教育目標「未来につむぐ 自分らしさの創造」

校訓『創造敬愛』

下川町立下川中学校
令和8年度学校だより
第6号 R8. 9. 29発行

学 校 祭 を 終 え て

校長 永 井 真 二

朝夕に涼しさを感じるようになり、空の高さや吹き抜ける風に秋の訪れを感じる季節となりました。本校では、9月5日に第80回となる学校祭を実施しました。当日は、下川町長 田村泰司様、下川町教育委員会教育長 古屋宏彦様をはじめ、多くのご来賓、保護者・地域の方々が子どもたちの発表を見に来てくださいました。心よりお礼を申し上げます。子どもたちは、多くの皆様から温かい拍手をいただき、最後までやりきったという満足感や達成感を味わうことができたようです。

学校祭の準備と当日の発表を通して、子どもたちも私たちも多くのことを学びました。学校祭などの行事の目的は、日頃の授業で育てた基礎的な能力を活用し、自分たちで考えた課題(「学校祭テーマ」や「各班の取組」)を、自分たちで工夫して解決する応用力を身に付けることです。その中には、活動計画を立て時間を守り準備することや仲間と協力すること、自分の考えを正しく相手に伝えること、違った意見をまとめることなど、社会の中で生きていくために必要な力がたくさん含まれています。

今年の発表を見て強く印象に残っているのは、子どもたち一人一人の個性の輝きでした。47名の子どもたちが個性豊かだということを実感すると同時に、お互いの個性が調和すると、これほど美しい姿になるということを実感させられました。当たり前ですが、運動が得意な子、絵が上手な子、声量が豊かな子、話が好きな子、無口な子、恥ずかしがり屋の子、目立ちたがり屋の子など、一人として同じ子どもはいません。みんな違っているのですが、それぞれがお互いの良さを理解し、認め合うことで、ステージの上で全員が本当に輝いて見えました。子ども園から一緒に、お互いをよく理解している集団だからこそできることなのだろうと思うと同時に、一人一人がしっかりと成長してきた証しでもあると思いました。

学校祭を通して子どもたちが成長できているのは、先生方が日頃の授業の中で基礎的な能力をしっかりと育てているおかげです。子どもたちが準備の途中で悩んでいる時は、教師が寄り添い、常に励ましの声をかけながら、一緒になって考えている姿がありました。それは、子どもたち同士の中でも同様です。共に悩みながら課題の解決に取り組むことで、お互いの信頼が増し、学年を超えた絆が深まっていったのだと思います。特に生徒会役員は最後の大会を立派にやり遂げることができました。

先日、新しい生徒会の役員選挙が行われました。新しい生徒会役員が決定し、3年生から1・2年生にバトンが引き継がれます。10月から新しい体制での生徒会活動の1ページが始まります。保護者・地域の皆様には、引き続き本校の子どもたちの活躍を見守ってくださるようお願い申し上げます。

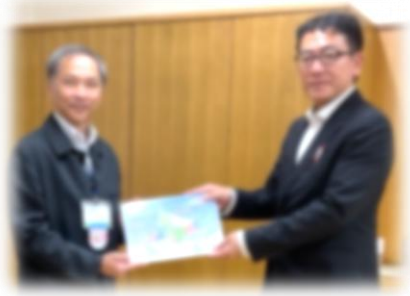
■おめでとうございます

- 第45回スポーツハウス杯中学生ソフトテニス大会
第5位 菅野・野崎ペア
- 第72回会長杯争奪ソフトテニス選手権大会
女子Aクラスの部 優勝 大池・大久保ペア



■谷組様、ありがとうございます

9月3日(木)、谷組様より「見て知る北海道地図情報(将来予想人口)」を寄付していただきました。ラミネートされた地図(A4版・全校生徒数分)です。



最高の仲間と、最高のステージを！

9月5日(土)に第80回学校祭を行いました。今年度の学校祭は、スローガン「最高の仲間と最高のステージを」のもと、全校生徒が力を合わせて準備を進め、本番では一人一人の個性と創造力が大いに発揮される素晴らしい学校祭となりました。

■縦割り班活動

学年単位の取組から大きく発展し、学年の枠を越えて活動する「縦割り班活動」として、生徒たちは自ら希望する「演劇」「イベント」「映像制作」「会場装飾」の4つの班に分かれ、上級生が中心となって下級生を支えながら準備を進めてきました。

演劇班による発表では、生徒たちが脚本づくりから演技、大道具・小道具製作までを手掛け、会場を笑いと感動で包み込みました。

イベント班による縦割りチーム対抗戦では、全校生徒が一体となってゲームを楽しみ、学年を超えた交流が深まりました。



■吹奏楽部演奏

「イケナイ太陽」

「Paradise Has No Border」

の2曲を演奏！



また、映像制作班による自主制作動画では、アイデアあふれる作品の数々に大きな拍手が送られました。

会場装飾班は、校内を華やかに彩る装飾や作品展示を通して学校祭の雰囲気を作り上げました。



■係活動



司会進行↑



照明・音響↑
会場展示↓

■下中オンステージ

生徒有志によるステージ発表！



■全校合唱

あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ～



学校祭の成功は、生徒たちの努力に加えて、保護者や地域の皆様の温かいご支援とご協力があってこそ実現できたものです。また、心温まるご感想を多数お寄せいただきました。生徒一人一人の挑戦や表現を温かく見守り、その成長を感じ取っていただき、心より感謝申し上げます。

今年の学校祭を通して、生徒たちは仲間と協力することの大切さや、自分の役割を果たすことの意義を学ぶ機会となりました。ご来場いただいた皆様、誠にありがとうございました。

いざという時の備えのために

■北海道シェイクアウト訓練参加

防災の日である9月1日(火)、北海道が企業や団体などに参加を呼びかけている訓練に本校も参加しました。この訓練は、地震発生時の時の安全確保行動を身に付けるために一斉に行うものです。

■着衣水泳体験(1年)

9月1日(火)、中学1年生はB&G海洋センターで着衣水泳を実施しました。衣服を着たまま水に入ること、普段の水泳との違いを体感し、万が一の水難事故に遭遇した際には無理に泳がず、浮いて救助を待つことの重要性を学びました。

■1日防災学校(2・3年)

9月1日(火)、下川小・中学校合同の一日防災教室を実施しました。小学 5・6年生と中学2・3年生は、土のう作成や災害用トイレの組み立て、AED 体験、簡易担架の作成と使用などを通して、防災に必要な知識や技能を学びました。また、避難所生活で起こりうる困りごとやその解決策について話し合い、自助・互助の大切さを考えました。災害時には自ら考え行動し、地域の一員として支え合う意識を高める貴重な機会となりました。



■秋の避難訓練

9月16日(水)、不審者侵入を想定した避難訓練と防犯教室を実施しました。生徒は教室での安全確保や避難行動を確認し、その後、警察署の方から不審者への対応や登下校時の安全について学びました。自分の命を守るために、冷静に判断し行動することの大切さを再確認する機会となりました。

■性に関する授業

9月10日(木)、1・2年生を対象に性に関する授業を実施しました。講師として元助産師の吉田征子さんをお招きし、1年生は「命の誕生」、2年生は「人とかかわり」をテーマに学習しました。講話では、命の大切さや相手を思いやり尊重することの重要性について、経験を交えながら分かりやすくお話いただきました。生徒たちは真剣に耳を傾け、自分自身や周囲の人との関係について改めて考える貴重な機会となりました。



■先輩進路トーク

9月11日(金)、2・3年生が総合的な学習の時間で「先輩進路トーク」を実施しました。大学生との少人数交流を通して、進路選択や学生生活、将来の夢について話を聞き、自らの生き方や進路について考えを深める貴重な機会となりました。



10月の予定

- 1日(木) 全校朝会、後期認証式、常任委員会
- 2日(金) 2学期中間テスト
- 6日(火) 常任委員会
- 7日(水) 3年学力テスト総合B、2年職場体験
- 13日(火) 職員会議
- 15日(木) 後期生徒総会
- 16日(金) 1年社会見学
- 19日(月) 教育相談(～22日)
- 26日(月) 校内研修、諸費納入日

■全国学力・学習状況調査結果について

(1) 全国と比較した下川中の結果チャート

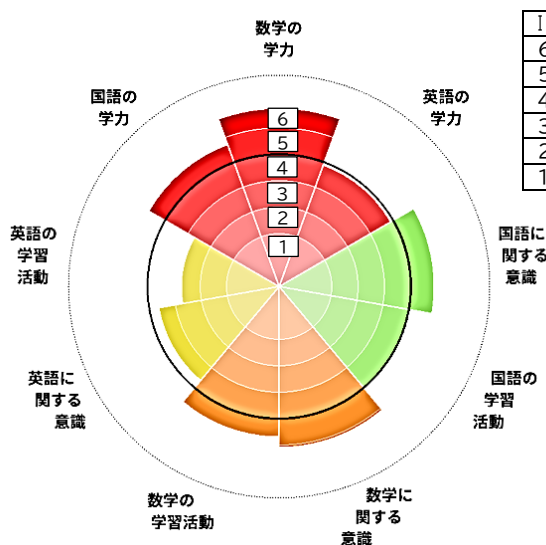
下のチャートは、全国を基準として本校のIRTバンドを項目ごとに表したものです。IRTバンドは、数字が大きければ大きいほど成績がよいと捉えることができます。

〔教科を中心とした学力・学習状況〕

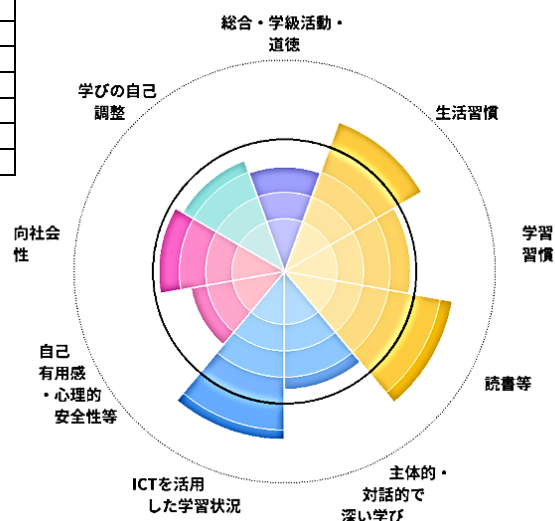
(全国基準)

〔その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）〕

(全国基準)



IRTバンド	意味
6	非常に高い
5	高い
4	標準
3	やや課題あり
2	課題が大きい
1	重点支援が必要



令和8年度全国学力・学習状況調査の結果を分析したところ、本校生徒の良さと今後さらに伸ばしていきたい力が見えてきました。学校では、この結果を授業改善に生かしながら、生徒一人一人の成長につなげていきます。

(2) 本校生徒の強み

生徒質問紙では、「自分にはよいところがある」と答えた生徒が 100% (全国 84.0%)、「いじめはどんな理由があってもいけない」が 100% (全国 95.1%) でした。また、「授業で学んだことを実生活に生かせる」も 100% (全国 78.0%)、「国語が将来役立つ」100% (全国 88.2%)、「数学が将来役立つ」100% (全国 76.5%) となり、自分自身を大切にしながら、学びの価値を実感している様子がうかがえます。

さらに、ICT 活用では「1・2 年生の授業で ICT 機器を使用した」が 100% で、全国平均 55.1% を大きく上回りました。日常的に ICT を活用する学習環境が定着しています。

学力調査では、国語の平均正答率 69% (全国 63.9%)、数学 73% (全国 57%) と全国平均を上回りました。特に数学では、「方法を説明する問題」が 71.4% (全国 33.9%)、「理由を説明する問題」が 57.1% (全国 31.9%) と高い結果となり、考えを文章で表現する力が育っていることが分かりました。

(3) 今後さらに伸ばしたい力

生徒質問紙では、「学校に行くのが楽しい」62.5% (全国 85.4%)、「友達関係に満足している」75.0% (全国 91.2%)、「人と違う意見を言っても否定されないとと思う」25.0% (全国 67.5%) でした。互いの考えを安心して伝え合える学級づくりや、生徒が主体的に活躍できる場面の充実が必要です。

また、学力調査では、国語の「文脈に即して語句の意味を捉える問題」が 14.3% (全国 35.2%)、英語の「条件に合う情報を選択する問題」が 33.3% (全国 63.8%)、「話し手の最も伝えたいことを捉える問題」が 33.3% (全国 55.6%) でした。必要な情報を整理し、条件や根拠を正確に読み取る力に課題が見られます。

さらに、英語で「考えと理由を書く問題」は 16.7% (全国 27.8%) であり、自分の考えを根拠とともに表現する力の向上が求められます。

(4) 授業改善の方向性

今回の結果から、課題は「情報を整理し、根拠を基に説明する力」にあることが分かりました。そのため今後は全教科で、右の枠内のような学習活動を共通して行います。

といった学習活動を共通して行います。

これからも「自分を大切に、他者を大切にできる生徒」の育成を土台に、根拠をもって考えを伝えられる力を育てる授業づくりを進めていきます。

【全教科共通の授業改善のポイント】

- (1) 問題文の条件や根拠に線を引く
- (2) 学習の要点を一言でまとめる
- (3) 「考え→根拠→結論」の形で説明する
- (4) 毎時間短時間でも書いて振り返る